

平成二十九年学力検査

全日制課程 A

第一時限問題 国語

検査時間 九時十分から九時五十五分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (二) 「解答始め」という指示で、すぐ受検番号をこの表紙と解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (三) 問題は(1)ページから(8)ページまであります。(8)ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (四) 答えは全て解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (六) 「解答やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

国語

— 次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。

3

2

1

著作権に配慮して掲載を控えています

5

4

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

(森本哲郎『日本語 表と裏』による)

(注)

- [1] [6]は段落符号である。
- 志||相手のためを思う親切的な気持ち。
- コミュニティー||地域社会。
- 神通力||何事も自由自在に行うことのできる不思議な力。
- 某||名前を伏せる場合に使うことば。ここでは、だれそれ。
- 転嫁||なすりつけること。
- 横柄||偉そうにして人を見くだすさま。

(一) ①

具体的な要求を出されるよりも、もつと迷惑する とあるが、その理由として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 相手にどの程度力を貸せばよいか判断するのが難しく、あれこれと思い悩むことになるから。

イ 相手の事情に心を配らなければならない上に、相手が納得するまで力を貸すことになるから。

ウ 相手から判断を強いられたことに気付かないふりをして、依頼にこたえなければならないから。

エ 相手の要求が常識の範囲を超えるものでも、日頃親しい仲では聞き流すことができないから。

(二)

第三段落が本文中で果たしている役割についての説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 第二段落までの内容を補うために、トゥアレグ語が簡単な単語で複雑な意味を伝えることができることを述べ、日本語もそうなるべきであると主張する第四段落へとつなげている。

イ 第二段落までの内容を補うために、トゥアレグ語を例に簡単な表現では意志がうまく伝わらないことを説明し、外国人との意志の疎通に必要なことについて述べた第四段落へとつなげている。

ウ 第二段落までとは視点を変え、外国語には簡単な単語で複雑な意味を伝えられる例があることを示し、日本語がそれとは対照的であることを具体例を用いて述べた第四段落へとつなげている。

エ 第二段落までとは視点を変え、外国語の例を引いて簡単な表現でも意志の疎通が可能となる条件を示し、その条件を満たさない場合について述べた第四段落へとつなげている。

(三) 筆者は第三段落で、簡単な表現でも相手に複雑な意味が伝わる場合について述べている。それを要約して、七十字以上八十字以下で書きなさい。ただし、「情報環境」、「価値観」という二つのことは使って、「簡単な表現でも複雑な意味が伝わるのは、……」という書き出しで書き、「……場合である。」で結ぶこと。二つのことばはどのような順序で使ってもよい。

(注意) ・句読点も一字に数えて、一字分のマスを使うこと。

・文は、一文でも、二文以上でもよい。

(四) ②にあてはまる最も適切なことばを、次のアからエまでの

中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 虫が好かない イ 虫がよすぎる

ウ 虫が知らせる エ 虫がおさまる

(五) この文章の内容として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 「よろしく」は、自分が責任をとらないだけでなく、判断をくだす努力を相手に求めない気楽な面もあり、不誠実な言葉といえる。

イ 「よろしく」は、相手の意志や判断を尊重しながらも、自分の意志をはっきり伝えようとする面があり、誠実な言葉といえる。

ウ 「よろしく」は、相手の意志を尊重するように見えて、判断をくだす努力を相手に求めている面があり、失礼な言葉といえる。

エ 「よろしく」は、殿様が家来に対して命じる言葉に語源をもつが、相手に対する信頼を表現している面もあり、複雑な言葉といえる。

※ 左の枠は、(三)の下書きに使ってもよい。ただし、解答は必ず解答用紙に書くこと。

						意	簡
						味	単
						が	な
						伝	表
						わ	現
						る	で
						の	も
						は	複
						,	雑
							な

80 70

二 次の(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一) 次の①、②の文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

① 藤原氏が榮華を極めたのは平安時代である。

② 高校生らしいセイケツな身だしなみを心がけたい。

(二) 次の文中の「③」にあてはまる最も適切なことばを、漢字二字で書きなさい。

これからの社会をたくましく生きていくために、臨機「③」に行動できる力を身に付けたい。

三 次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

1

2

3

著作権に配慮して掲載を控えています

4

5

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して
掲載を控えています

(加藤博子『五感の哲学 人生を豊かに生き切るために』による)

(注)

- ①⑧は段落符号である。
- 不可逆Ⅱ元に戻らないこと。
- 邂逅Ⅱめぐりあい。
- 一期一会Ⅱ一生に一度だけ出会うこと。
- 信号化Ⅱ情報を相手に伝えやすい形に変えること。
- 茫漠Ⅱぼんやりして、つかみどころがないさま。

(一)

① にあてはまる最も適当なことを、第三段落からそのま
ま抜き出して、七字で書きなさい。

(二)

「A」から「C」までのそれぞれにあてはまる最も適当なこ
とを、次のAからCまでのの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書
きなさい。

ア すっかり イ とうてい ウ たとえ エ むしろ
オ たとえば カ なげなら キ しかし ク せめて

(三)

② ほとんど写真は撮りません とあるが、筆者が旅先で写真を撮らな
い理由として最も適当なものを、次のAからEまでのの中から選んで、
そのかな符号を書きなさい。

ア 視覚以外の感覚も使って旅先での体験を身体に刻み込むことで、後にそれをよみがえらせ、楽しむことができると思うから。

イ 今この瞬間をスケッチとして残すことで、将来それを取り出して眺め、楽しかった思い出に浸ることができると思うから。

ウ 記憶に刻み込まれた風景を呼び覚まし、眼前に広がる風景と重ねることで、時の流れの神秘性を感じることができると思うから。

エ スケッチをするように時間をかけ、旅先で得た感動を映像として記憶することで、他者と分かち合うことができると思うから。

(四) 次の文は、本文中のどの段落について述べたものか。段落符号で答えなさい。

時間と香りが共通した性質をもつことを指摘した前段落をうけて、刻々と移ろう存在である私たちと香りのめぐりあいはいく回きりであることを述べるとともに、香りは視覚や聴覚の体験と違って外部保存できないことを述べた次段落へつなげている。

(五) 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれた筆者の考えに最も近いものを選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 香りは刻々と変化するものであり、時間がたつたときに元の香りとは異なるものになっている心配がある。

イ 視覚や聴覚の体験と同じように、嗅覚の体験も技術の進歩によって繰り返し疑似体験することが可能となる。

ウ 嗅覚の体験は曖昧でつかみどころがなく、身体の内底に刻み込んで記憶としてよみがえらせるのは困難である。

エ 生活や表現から匂いや香りの感覚が消されていくことは、生を大切にすることを薄れさせるおそれがある。

(六) 次の文章は、ある生徒が本文を読んで感想をまとめたものであるが、文の順序が入れ替えてある。筋道が通る文章とするためにアからオまでを並べ替えるとき、二番目と四番目にくるものをそれぞれ選び、そのかな符号を書きなさい。

ア このように、「くさい」、「におう」のどちらにも、五感のうちどの感覚でとらえたかがはっきりしない感覚を表す意味があり、筆者はこのことを踏まえて、他のどの感覚で感じ取ったともいえないような場合には嗅覚の比喩を使わざるを得ない、と述べたのではないかと気付きました。

イ こうした感性が、私たちの社会が無臭化を目指す中で消えていくとしたら、少し寂しい気がします。

ウ 私は、筆者が第七段落で、「臭い」や「匂う」という言葉の使用われ方について述べていたことから、これらの言葉に興味をもち、国語辞典で調べてみました。

エ そこで、「いかにもそれらしい感じがする」という意味の「くさい」を用いた言葉を思い浮かべてみると、「照れくさい」や「古くさい」など、いくつもの言葉が思い浮かびました。日本人は、このように嗅覚の比喩を使い、微妙な情感を表現することによって、豊かな感性を受け継いできたのかもしれない。

オ 「くさい」には、「嫌なおいがする」という意味以外に「疑わしい・怪しい」、「わざとらしい」という意味があり、さらに「水くさい」など、体言に付いて「いかにもそれらしい感じがする」という意味がありました。また、「におう」には、嗅覚で感じる意味だけでなく、「美しく照り映える」や「何となく気配が察せられる」という意味がありました。

四 次の古文を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。(本文の……の左側は現代語訳です。)

人の心、もとより、善悪なし。善悪は、縁に随つて起る。たとへば、

人、発心して、山林に入る時は、林家は善し、人間は悪しと思へり。ま
仏道修行をする心を起こして

た、退心して、山林を出づる時は、山林は悪しと云ふ。これ、即ち、修行する心が鈍つて
えれば

決定、心に定相無き故に、縁に随つて、ともかくもなるなり。故に、必ず一定不変の状態

善縁に逢へば心善くなり、悪縁に近づけば心悪しくなるなり。我が心、

もとより悪しと思ふことなかれ。ただ、「③」に随ふべきなり。
思つてはならない

(『正法眼蔵随聞記』による)

(注) ○ 縁Ⅱここでは、周囲の状況のこと。

○ 林家Ⅱ山林の中の住まい。

○ 人間Ⅱここでは、世間一般の人が住むところ。

(一) ① これ のさす内容として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 修行することによってその人の人格が大きく変わってしまうこと
イ 心の状態によつて修行する場所に対する考え方が変化すること
ウ 世間一般の生活をしながら山林での修行生活にあこがれること

エ 日常から解放される山林は修行の場にふさわしいと思うこと
(二) ② ともかくもなるなり の現代語訳として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 何とかしたくなるものである

イ こうしてほしくなるものである

ウ どうでもよくなるものである

エ どのようなものでもある

(三) 「③」にあてはまる最も適当なことを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 善悪 イ 発心 ウ 善縁 エ 悪縁

(四) 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 人の心はよい状況に身を置くことで自然によくなるものである。

イ 人が生まれつきもっている悪い心が仏道修行の妨げとなる。

ウ よい心を保つには周囲の状況を気にせず生活する必要がある。

エ 仏道修行の成果は修行後の心の在り方で分かるものである。

オ 日頃の自分の心がけ次第で社会全体が豊かになるものである。

(問題はこれで終わりです。)

一		(一)							(二)							80 70	※一 1点×3 2点×2 <div></div>
		(三)															
		(四)							(五)								
二		(一)	①	めた						②							※二 1点×3 <div></div>
		(二)	③														
三		(一)													※三 1点×4 2点×2 <div></div>		
		(二)	A () B () C ()														
		(三)							(四)								
		(五)															
		(六)	二番目 () 四番目 ()														
四		(一)							(二)							※四 1点×4 <div></div>	
		(三)							(四)								

受 検 番 号	第	番	得 点	※
---------	---	---	-----	---

(注) ※印欄には何も書かないこと。

受 検 番 号	第	番	得 点	※
---------	---	---	-----	---

◇K17(864—1)